

## 気持ち伝わるプチプレ

樺澤 貴子 著

食事を一緒にさせていただいた後のお礼や、お世話になった方へのちょっとした挨拶、そして急に予定が変更になったお詫び・・・「ありがとう」「や」「ごめんなさい」という言葉と一緒に気軽に贈り物をしたと思うことがあります。本書は、そんな時に活躍しそうな本です。贈り物をする相手や贈るシーン、そして価格別で、様々なアイテムが150種類も紹介されています。また、二十四節気と共にいろいろな記念日についても取り上げられています。その中で、おもしろいと思ったものが、1月25日「中華まん」の日。日本最低気温の記録を記念した日だそうで、アツアツの中華まんを食べるのにぴったりと制定されたとのこと。営業で、中華まんを持って・・・というのは、ちょっと驚かれるかもしれないけれど、話題づくりと自分を印象付けるには、効果的かも。さらに、記念日に関するうんちくや贈るときのマナーも載っていたので、読み物としても楽しめました。

私は、贈り物をするとき、かなり悩み、迷い、結局、自分が欲しいもの、おいしいと思ったものを選んでいきます。ただ、今までは、「つまらないものですが」と、渡してしましたが、最近、つまらないものを渡すのはおかしいと思い、「私が好きなものなんです」と渡すようにしています。本書には、自分でも食べてみたい、使ってみたいものがいっぱいなので、まずは自分への「プチプレ」から試してみたいと思います。

智保



掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞